

# 三条教区通信

第104号

発行日 2016年2月1日  
発行者 三条教務所長 池守 章  
発行所 真宗大谷派三条教務所  
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区

## 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

生きとしいくる  
ものすべて  
このみひかりの  
うちにあり

超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

『和訳正信偈』(真宗教団連合制定)

All living beings, without exception,  
are embraced in this radiance.

Classical Japanese Translation of *Shobshinge*,  
by Shinshū Kyōdan Rengō

## 三条教区災害対策委員会のお知らせ

### 三条教区災害支援実行委員会からのお願い

これまで皆様からご協力いただきありがとうございました東日本大震災救援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けしています。

現在ご協力いただいた金額は70,315円となりました。

御礼を申し上げますとともに皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

3月28～30日、「春休みお寺宿泊体験」として、子どもたちを放射能汚染から守る一時保養を行います。29～30日は「三条別院子ども奉仕団」に参加し、教区の子どもたちとも交流し、ゆっくと楽しい春休みを過ごしてもらいます。

## 研修会のご案内

### ■ 仏青交流研修会(グリーンケア研修第2回) 開催案内既送

- ◆日時 2016年2月9日(火)14:00～17:30
- ◆場所 三条別院旧御堂
- ◆講師 酒井義一氏(東京教区存明寺)
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも(事前申込不要)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

### ■ 若坊守・准坊守のつどい 開催案内既送

- ◆日時 2016年2月20日(土)12:00～15:45

- ◆場所 三条別院旧御堂
- ◆内容 三条別院本堂参拝、諸殿拝観、茶話会等
- ◆参加費 500円
- ◆対象 若坊守、准坊守
- ◆申込先 各組坊守会長
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤谷)

### ■ 教区女性研修会 開催案内同封

- ◆日時 2016年3月9日(水)10:00～15:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 西山郷史氏(能登教区西勝寺住職)
- ◆講題 お齋について—いただきます。ごちそうさま。—
- ◆参加費 2,000円(昼食代含む)
- ◆対象 どなたでも(事前申し込みが必要です)
- ◆申込み お寺、または教務所へお申込みください。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤谷)

### ■ 声明基本講習会 開催案内同封

- ◆日時 2016年3月25日(金)9:30～16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 声明講習会部門スタッフ
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも(教務所へ事前申込ください)  
得度班(得度式受式の内容から)  
法務研鑽班(葬儀・法要等の日常法務の内容から)  
声明研鑽班(中央声明講習の内容から)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤谷)

### ■ 教学研究会 開催案内同封

- ◆日時 2016年3月30日(水)～31日(木)
- ◆会場 三条別院旧御堂
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
- ◆内容 『教行信証』化身土巻
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも(教務所へ事前申込ください)
- ◆締切 2016年3月25日(金)
- ◆受講証 第2種発行(教師陸補のために1枚要するもの)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

### ■ 教区坊守研修会 報告

第16組善興寺 長田佳野子

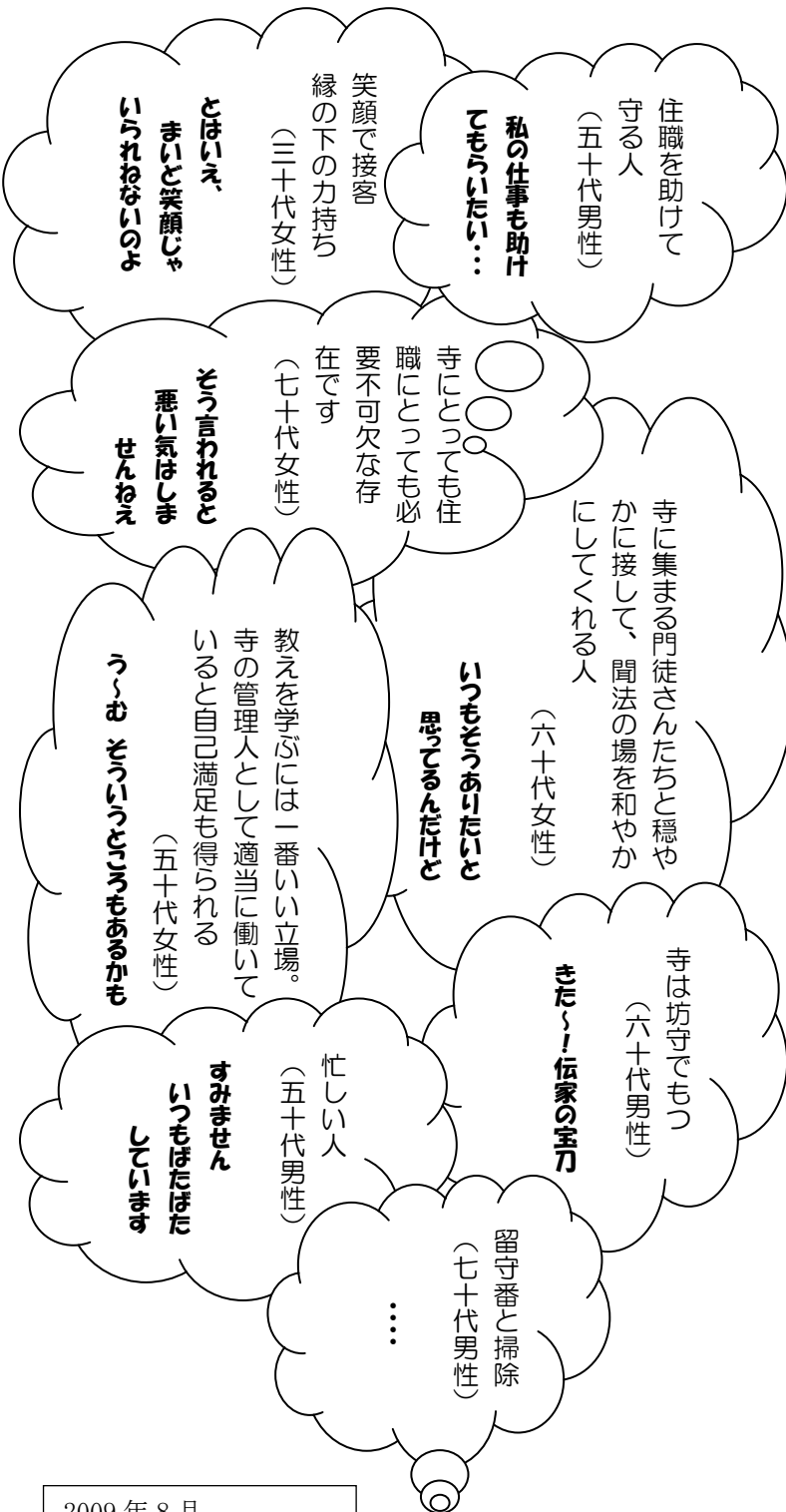
12月15日、師走にも関わらず、たくさん参加され、三条別院旧御堂で、仙台教区正西寺坊守小丸洋子氏を講師に御迎えして研修会が行われました。

午前中、小丸先生の、福島県浪江町で遭われた震災の体験苦勞、御自分が親鸞聖人の教えに出会い導かれていかれた事等さまざまな様子や想いが詰まった講演でした。

午後からは、研修会のテーマでもある、「現代を生きる一寺をひらく、私をひらく—」について、語ろう会で、各班に別れて話をお聞きし、皆様、色んな意見、悩みを出し合いそ

れに伴い考える場を下さり感謝。小丸先生の、午後からの講演も、このテーマに関連した講演で、先生御自身も、このテーマは、難しく考え深い定まった正解はないのではと言うお話でした。又、先生がお待ちになった資料のなかの坊守に関するアンケート(以下に紹介)が面白くもあり、参考にもなりました。

**坊守ってどんな人？**



2009年8月  
仙台教区で実施された  
アンケートより



一日、得難い講演と交流、同じ悩み、慶びを感じる事ができ、まだ、知らない世界へと一歩踏み出すヒントをもらったかもしれません。今回の研修会だから何かを見いだせるのではないかと又、考えることもできるのではないかと思います。でも、もっともっと、多く参加して頂き、色んな事を話し合っ  
て、交流を広げられたらいいなと思う研修会でありました。

**秋安居 報告**

第19組 玄證寺 浅間伸一

12月7、8日の両日、本山安居本講の本多弘之氏(親鸞仏教センター所長)を講師にお迎えして本年度の秋安居が開かれました。41人の参加者が熱心に聴講する中、本山の安居「金剛信の獲得」について、その問題意識も交えてご講義をいただきました。

先生はまず、安田理深、曾我量深両師のことをしみじみと憶念されました。そして、「私が安居の講義をしながら、親鸞聖人を憶念しながらお話しをしている、こういうふうに信心をいただけるということ、ここでお話しをできるということの幸せは曾我量深先生のお力である。曾我先生はコンピューター付きブルドーザーだと思っている。曾我先生が、とにかくブルドーザーで引いてくださった路線がある、この道だけが親鸞聖人に通ずる道だと信じている。江戸封建教学は、むしろ親鸞聖人の教えをどこかで糊塗した、それをはっきりする必要がある。」と言われました。

また、「私達は、曾我先生という方が開いた道をただ曾我先生についていくだけではなくて、曾我先生が開いてくださった道を、もういちど親鸞聖人が明らかにしてください本願の教えに帰って、ひとり一人が我が信念として、本当にこれが自分が信ずることのできる仏教である、ということをも自分自身が信ずる。そして、それをご門徒に伝える。そういうことができないと、この宗門は崩壊します。」と説かれました。

今回の安居本講におけるご自身の姿勢についても、「自分が本当に本願と出逢うということ、親鸞聖人が教えてくださっている方向性を自分なりに訪ねようということで、自分の足で訪ねられるところまで訪ねようとした足跡です。そういうことであんまり先輩のことを気にしておりません。」と語られました。

そして、「皆さん方もどうぞ、直接、教行信証の文にぶつかって、わかる、わからない、を超えて歩いていただけたら有り難いと思います。」と結ばれました。

**教務所からのお知らせ**

**◎教区行事予定表**

2016年		
2/1(月)		真宗学院入学願書受付締切
2/3(水)	14:00	社会広報部会 研修部会
2/5(金)	13:00	御坊市出店業者選考委員会
2/8(月)	13:30	教区坊守役員会
2/9(火)	14:00	仏青交流研修会
2/10(水)	14:00	真宗学院指導会議
2/17(水)	14:00	企画委員会
2/18(木)	14:00	教化センター 推進員教習部門会議
2/20(土)	12:00	若坊守・准坊守の集い

2/20(土) 14:00	真宗学院入学試験
2/22(月) 16:00	如来会学習会
2/23(火) 14:00	「差別と真宗」共学研修会部門会議
2/24(水) 10:30	推進員連絡協議会役員会
2/25(木) 14:00	教化センター
2/27(土) 14:00	真宗学院合格発表
3/4(金)	～6日教区推進員後期教習
3/5(土) 13:30	真宗学院特別講義3
3/7(月) 16:00	教学研究会『教行信証』輪読会
3/8(火) 15:00	靖国問題研修会部門会議
3/9(水) 10:00	教区女性研修会
3/10(木) 14:00	教化センター
3/11(金) 14:00	声明研修会スタッフ学習会
3/16(水) 14:00	企画委員会
3/17(木) 14:00	教化センター
3/24(木) 14:00	教化センター
3/25(金) 9:30	声明基本講習会
3/26(土)	真宗学院卒業式・教師補任式
3/28(日)	～30日 新潟のお寺に泊まろう!! 放射能汚染から子どもたちを守る一時保養
3/30(水)	～31日 教学研究会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

## 駐在教導のつぶやき

駐在教導 藤波法英

「新潟とか田舎の方でもこっちと同じになるのはもう時間の問題ですよ。」と、関東のある葬儀屋さんからそんなことを聞いた。ここでいう「同じになる」とは、葬儀のあり方のことだった。その時既に関東ではいわゆる家族葬や密葬が増えつつあり、今でいう直送に近い形(火葬の前に短いお勤めをするのみ)で僧侶が呼ばれることもあった。およそ15年程前の話だ▼有名な話だが5～6万年前に埋葬されたシャニダール人骨は丁寧に埋葬されており、人骨とともにたくさんの花粉や花卉の化石が発見されたという。このことからネアンデルタール人は死者を悼み、花を手向ける等、何らかの死者儀礼を行ったと推測されている。(ラルフ・S・ソレッキ著『Shanidar: The First Flower People』より)▼それまでの狩猟生活をする原始人のイメージを変え、いよいよ人間らしくなってきたことを示すその発見は、人間を人間と定義付ける発見のひとつとして忘れられない。それは「死者儀礼を行うことをもって人間とする」というひとつの人間観だ。但し、これはあくまで私のこじつけなのかもしれない▼それではつぶやこう・・・15年前に聞いた葬儀屋さんの言うとおりの状況が私の地元でも始まっている。決して亡き人をぞんざいに扱っているのではないと思うのだが、昨今の葬儀の合理化や簡略化傾向に甘んじて、人間を失いかけてしまいかと考えさせられる。

## 新潟親鸞学会からのお知らせ

### 特別講座のご案内

2016年度の特別講座には、ドキュメンタリー映画『土徳流離(どとくりゆうり)ー奥州相馬復興への悲願』を撮影した青原さとし監督を講師にお招きします。

東日本大震災と原発事故についての映画は数多くありますが、この映画の場合、そこに、相馬で暮らす200年前に北陸・越後から移住した浄土真宗門徒という切り口で迫っています。前編「はるかなる山河をこえて」、後編「無量の時のあなたたちへ」の2部構成で、全体で200分を超えるという大作なため、今回は映画をすべてご覧いただくことはできませんが、監督が映像を参照しながら、その思いを語ります。

多くの方の聴講をお待ち申し上げます。

なお、新潟市内の映画館シネ・ウインドでの全編上映(予定)については後日詳細をお知らせします。

日時 2016年3月14日(月)13:00～16:30

13:00～13:30 受付

13:40～16:00 抜粋上映と講演

16:00～16:30 質疑応答

会場 新潟グランドホテル(4F メイプル)

新潟市中央区下大川前通3ノ町 2230

Tel 025-228-6111

講師 青原 さとし先生(映画監督・1961年広島の本願寺派真光寺生れ)

講題 『土徳流離(どとくりゆうり)ー奥州相馬復興への悲願』を撮って

聴講者 真宗教団連合新潟県支部会員および新潟親鸞学会会員

聴講料 無料(定員150名)

申込み FAXで新潟親鸞学会事務局 025(222)2830へ

本号同梱のご案内チラシをご覧ください。

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内  
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com

